

北朝鮮による地下核実験に対する抗議決議

北朝鮮は、昨年12月12日の長距離弾道ミサイル発射に続き、本年2月12日に3回目となる核実験を強行した。

このような北朝鮮の軍事的挑発行為は、北東アジア地域および国際社会の平和と安全に対する脅威であり、昨年12月の北朝鮮のミサイル発射を受けて、国連安全保障理事会が採択した第2087号決議に対する明確かつ重大な違反である。

このような北朝鮮の暴挙は、核兵器廃絶と世界平和を願う世界中の人々に対する挑戦的な威嚇であり、断じて許すことはできない。

我が国は核の悲惨を肌で知る世界で唯一の被爆国であり、また、本市は平成17年11月3日に「『平和を』の都市宣言」をし、世界の平和を訴え続けた永井隆博士の意思を引き継ぎ、核兵器の廃絶と世界の恒久平和に努力することを誓っている。

よって本市議会は、市民の安全で安心な生活を守る立場から、世界の平和を乱す北朝鮮の暴挙に対し断固抗議し、一切の核実験の中止および核兵器開発計画の放棄を強く求める。

以上、決議する。

平成25年3月22日

雲南市議会